



第 1828 回例会

平成 27 年 4 月 20 日(月)

12:30~ 海南商工会議所 4 階

会員卓話 上野山 雅也 君

1. 開会点鐘

2. ロータリーソング 「それでこそロータリー」

3. 出席報告

会員総数 48 名 出席者数 36 名
出席率 75.00 % 前回修正出席率 89.58 %

4. 会長スピーチ

みなさん、こんにちは。先週は家族例会ご出席ありがとうございました。親睦委員会のみなさまご苦労さまでした。

宇恵 40 周年実行委員長からものちほどお話があるかもしれません、先ず記念事業についてご報告したいと思います。4月 13 日(月)海南市教育委員会のご指定どおりに海南三中のへ宇恵実行委員長、宮田、楠部両副委員長、桑添記念事業部会長、中西幹事、阪口広報担当と私ででかけました。教育委員長、教育長、教育次長など委員会関係者、海南三中の校長以下幹部職員と生徒会役員 6 名くらいが出席され、おごそかな雰囲気の中で贈呈式が行われました。私の挨拶のあと、出席者紹介、図書目録贈呈につづき最後に教育長の御礼のご挨拶と生徒会長の御礼のことばで記念撮影をして 15 分位で終わりました。三中のホームページに写真が載っています。大勢の生徒と出会いましたがみんな明るくにこやかにあいさつしてくれて大変好感が持てました。本当によい企画であったと思います。40 周年委員会、宇恵委員長はじめ委員会のみなさまにあらためて感謝したいと思います。

それから、西クラブからのお話で 2 万円国体水? に送りました

今日はこのあと上野山くんの卓話があります。ご清聴下さい。ありがとうございます。

会長 山東 剛一 君



5. 幹事報告

幹事 中西 秀文 君

昨日、第 2640 地区決議会が開催されましたので、谷脇副会長と共に出席しました。決議の内容は、「2015 ~2016 年度ガバナー豊澤洋太朗氏が当地区の運営に関する①地区賦課金の議決・地区予算の承認②地区大会開催日の決定方法等について RI 細則違反の事態を発生させていることにつき、その責任を問うと共に今後において RI 細則を順守して地区運営を行うことを求める」と言うものです。決議案は、参加 61 クラブの内、大多数の賛成で可決されました。今後の成り行きに注目する必要があります。

6. 委員会報告

○米山記念奨学会委員会 委員長 三木 正博 君

昨日、米山奨学生とクラブカウンセラーのためのオリエンテーションに花田カウンセラーの代理として出席しました。

当クラブがお世話することになった奨学生は、中国出身で和歌山大学博士課程 2 年の「郎 彦昆」君です。非常に好青年で日本語も堪能です。5 月 11 日の夜間例会に出席します。皆様よろしくお願ひします。

○親睦活動委員会 委員長 角谷 太基 君

4 月 12 日の家族例会に会員とご家族で 64 名の方に参加していただき有難うございました。

○社会奉仕委員会 委員長 田中 祥秀 君

5 月 17 日(日)に海南たんぽぽの会と海南東 RC 交流会を浜の宮で開催しますので、役員の方はじめ会員の出席よろしくお願ひします。

7. 会員卓話

上野山 雅也 君



私は、地元、海南市日方で生まれ育ち日方小学校、海南 2 中、海南高校と横出氏に言わせると地元のエリートの一貫教育の中、大学進学となりまして当時お勉強が非常に嫌いで別に将来の夢もなく、なりたい職種もみあたらずと前談の勉強嫌

いが相まって現役で行ける大学は限られてきました。何となくお江戸に行きたいと思うこともあり、六大学の一番やさしい H 大学を 3 学部受験いたしましたがはかなくも「桜散る」の電報がとどき、滑り止めの日

四つのテスト 言行はこれにてらしてから

- ①眞実かどうか
- ③好意と友情を深められるか
- ②みんなに公平か
- ④みんなのためになるかどうか



事務所 〒642-0002 海南市日方 1294(海南商工会議所内)

電話(073)483-0801 FAX(073)483-2266

会長：山東 剛一 幹事：中西 秀文 SAA：山田 裕之

本大学に入学することになりました。大学でも、あまりお勉強した記憶もなく4年間バイトと遊びに明け暮れていきました。

当時の大学は、3年ほど前に大学議争も峠を越しやつと平和が戻ってきた状態でしたが、学校内ではまだ紛争の爪痕や各種看板等が残っている状態でした。クラスの中でも、やはり左よりの考えを持つものもあり、チラシを配布しては、大学が飼っている右翼系の学生に追い掛け回されていました。バイトは、町のアンケート調査からデパートの特売品売り場、飲食店の店員等いろいろしましたが、落ち着いたのは当時住んでいました渋谷区の恵比寿のアパート近くの飲食店と新宿の小田急デパートの特産品売り場の臨時アルバイトで落ち着きました。今や恵比寿の街は、特に東口はガーデンプレイスやお洒落な店が立ち並んでいますが、40数年前は何もない所で、サッポロビールの工場があり、駅前に屋台のおでん屋ができるような町でした。バイト先は住んでいた場所から近く、初めは客として通っていたのですが、マスターと親しくなり、バイトすることになり、晩飯の心配がなくなつたことが一番のよきことでした。その飲食店のオーナーは飲食店用の圧力フライヤーの輸入や製造を行っている会社で、その店にも当時ケンタッキーも多分、なかつた時代だと記憶していますが、圧力フライヤーで揚げるチキンを売り物にしている店で、当時としては、お洒落な店でした。昼間は、会社員相手のランチ、夜は場所柄、銀座あたりのヘルプ専用のちょっとといけてないお姉さまの来店が多かつたように記憶しています。さすがに東京だと思ったのが芸能関係の人も、たまに見ました。売れる前の夏木マリ、片瀬梨乃、王選手等々です。

学生時代は、夏休みには必ず帰省しました。なでかしら実家で夜中まで遊ぶことが常態化して、あつまる連中は、だんだん増え、終りには誰だかわからない連中も出入りするようになりました。その中の一人に大江さんもいたことをロータリーに入って知りました。そんなこんだで、大学生活も4年になり、今まで小汚い連中もリクルートカットになり、いわゆる就活が始まりました。当時は、今と違い半分くらいが地元の官公庁や企業に就職することが多かつたように記憶していますが。私の第一希望はアパレル関係、流通関係でした会社訪問や就職情報誌をもとに数社、訪問した。しかし、親父の無言のプレッシャーにより地元へ帰ることになりました。当時は和歌山県庁、市役所、海南市役所等は採用なしの時代で、地元では金融関係ぐらいしかない状況でした。最初に縁故もあり紀陽銀行を訪問しましたが人事部に嫌な奴がおり断念し、阪和銀行の前身である興紀相互銀行に縁あって就職することになりました。

当時、私の金融機関の職員のイメージとしては濃紺スーツに白カッターで非常に堅物の人の集団というイメージしかなく、合わんかつたら三日で辞めてやろとか考えながら入行したわけですが、歓送迎会でのお酒の入った銀行マンの姿を目の当たりにし、この連中とならお付き合いできるわと確信し、銀行マン生活始

まりました。振り出しへ、昭和50年に高松支店に配属になり、一年後に外交に出されました。支店の先輩からは、ながく店でおりたかったら女子職員に手だしたらアカンとの忠告のもと真面目に過ごしてゆこうかと。高松支店は見事なほど対象者が見当たらない支店ということでした。そこで、5年ほどおりましてそろそろ転勤の時期かなと思うころ、案の定、支店長からお呼びがかかり、人事から変な辞令がきているとのことで、初めての辞令なのでようわからんわ。そんな無責任なやり取りがあり、よく聞けば、はじめて部になる国際部という部署で、数年前から準備室の形ではじまっていて、当時の大蔵省から公認を得て発足の運びになったところでした。支店におったらそんな動きは到底知らず、外貨の両替くらいしか当時は知識がありませんでした。支店長いわくお前、英語できんのか?頭のええ奴、多いみたいやど。「お前よりは、ましや」とも言えず高松支店を去りました。人事部へ行くとお前1年間、出向やといわれ、意味がわからず、三和銀行の日本橋1丁目支店へ半年。三和銀行本店国際事務センター半年。「できが悪かったら、もつとやでと」三和銀行勤めが始まりました。当時の金融機関は今もそうですが、系列が強く関西系金融機関は、住友、三和、大和系がほとんどでした。外国為替部門は東京銀行を筆頭に、日都市銀行が牛耳っていました後発の地方銀行等は遅れをとっていた時代でした。しかし国際化の時代になり地方の企業でも輸出、輸入を直接する企業が増えてきて金融機関としても外国為替公認銀行の認可が最優先されるようになってきた時代でもありました。当時は外貨の規制は相当厳しく、特に外貨の各金融機関の持ち高規制等は、厳格に管理されていて扱う行員も5年以上の経験者がかく、営業店に1名以上設置せよとのお達しで専門職のようでした。このため、当然当行は5年以上の経験者は誰もなく三和銀行より受け入れお願いしていました。三和銀行、特に日本橋の支店では可愛がってもらい、女子行員さんもどっかと違つて綺麗だし、ノルマもないし給料かわらないし、夢のような1年を過ごしました。1年後、無事にトレーニーも終了し大阪支店外国為替専従員の辞令をもらい大阪支店勤務が始まりました。当然、外為の仕事につけると思ひきや、赴任したとたんに支店長から上野山君、悪いが専従の辞令やが、外交してくれないか。人事部にきかれたら外為先の外交をしていると言ってくれないかとのこと。当時の大阪支店では外為の人員があまつて席がないとのことでした。まあ仕方ないとの事と大阪支店での外交の仕事も和歌山と違いビジネスライクなこともあります、楽しいかった事が思い出にあります。北新地のクラブの女性引き抜き資金に金貸して欲しいとか、さすが、なにわの金融道でした。そんなこんなで、2年ほど大阪勤めが続いたころ人事部からお達しがまたまたきて、今度は海南支店やと。超地元なんですか?お前 やっぱり外為専従やないかと聞いたら海南支店にも外為先あるみたいやし。というこ



とで海南支店勤務を命じられました。海南支店で外為の仕事できるという期待して赴任してまいりましたが、当時の支店長も同時期の転勤だったらしくわけわからん？その時の次長が高松時代の上司。おまえ外為



せんでいいから、外交やってくれる。当時、そんな流転の人生でした。海南支店では、桑添さんの弟さんで故人になられましたが幹夫さんともよく飲みにつれってもらい大変お世話になりました。

そんな私に転機が訪れたのは、海南支店で3年目ぐらいだったと思いますが、組合主催の恒例のソフトボール大会の紀中地区の支店対抗での出来事です。恒例により始球式に取締役クラスがやってきて始球式をするわけですが、その役員に三和銀行出身の国際部長がお見えになり、通常なら速攻で帰るのですが何を思ったか昼時までいました。ランチタイムになり、食事の用意も各支店長がしてなくて、何より三和出身ですから田舎の支店長連中はどうしていいかわからない状況でした。たまたま弁当が余っていたので、部長ご無沙汰です弁当いかがですか?と言ったところひどく感激してくれまして「上野山君いまどこや?」「海南です」「そうか君外為やってへんわな」「いまさらかえ…」「もう忘れてるわ」というような出来事があり、食い物が効いたのかその春に本店国際部に即行で転勤となりました。次節の流転の銀行員生活が、また始まりました。

当時をふりかえってみれば座右の銘「人生捨てるものもあれば捨うものもある」をしみじみ思いました。初めての本部勤務周りは、重役ばかり、社員食堂でも部長クラスがいるし、若手行員には居心地のいいものではなく、ほとんど外に飯は食いいでていました。その頃、嫁と知り合いました。その話はまた時間があれば後程。部室の方も静かなもので支店勤務とは大違いでして、そこで最初は決算業務をやらされました。退屈で死にそうでした。しばらくして外為のディーリング業務が解禁になり、いわゆる外貨の貸し借り、売り買いが独自にできるようになり、その補佐役に任命されました。ようやく無言でいることが少なくなり、取扱も増え、活況になってきました、当時外国通貨を組み合わせた預金商品や貸付商品が流行し、いやがうえでも対応に追われた思いがあります。当時は外国為替のマーケットは東京と大阪にあり、当然、大阪マーケットに特設電話で発注し、売り買いということでしたが、大阪の参加メンバーが東京進出し、どんどん減つていき、当行も東京進出を考えざる状態になり東京支店および国際部の東京分室ディーリング、債券ディーリングを設置することになりました。当時はバブルの最中で銀行用地の確保がまず大変で、また日銀まで徒步で行ける場所となるとまた大変でした。なんやかんやで無事開店しまして、さすがにバブル期、一日でご祝儀預金 1,000 億集まったことを覚えています。そんな経緯をもって東京勤務が始まりました。大阪と違いさすがに東京のマーケットはでかく出会ったこともない

銀行と取引が成立するし、またディーリングルームの設備も素晴らしくしてもらいました、なんといっても夜の接待がほどよく、当初、単身赴任でいっていた関係もあり、ファンタスチックな日々を過ごしました。でも仕事もよくしました。24時間働けますか～てなコマーシャルも流行っていた時代。ジュリアナ東京、タクシー捕まらない時代で、ノーパンシャブシャブ、あの時代はなんやったのか偲ばれます。そんな時代も3年と持たず、バブル崩壊。銀行不良債権の山、接待ご法度。しかし、いったんしみついた行動パターンはサラリーマンには抜けきらず、領収書なし、タクシー券なしの時代に突入し、自腹で縄のれんの時期になってしましました。人事部からは単身赴任で依頼された経緯は世田谷の一等地に社員寮できるから1年半ほどまって欲しいとのことで、そんな話も出来上がれば売却し、露と消えて不動産融資比率が高かった当行は非常に国内銀行においてもグレーな銀行ということになり、また悪い時期に副頭取が何者かに射殺されるという事件があり、いよいよ限りなくブラック銀行に落ちぶれてきました。東京生活のほうは、2年弱ほど単身赴任が続いたのですが マンション建築が挫折して、

バブル崩壊 Rhapsody

ここへ、佐山君で
銀行借り上げのマンション住まいしていまして、近くには砧公園や東宝の撮影所やテレビの収録所なんかもあり、成城も一駅でした。芸能人も多く、ご存じうちの嫁は非常に充実した生活をおくっていたのではないかと推察します。そんなこんなで私は8年近く、家族は6年近く東京ですごしましたが、最終的に阪和銀行はおとり潰しになり、あえなく和歌山に帰つくることになり、和歌山で総務課長勤務となり、破産整理の仕事をしばらくしていましたが、おやじから、「潮時やろ」ということで、現在に至っております。

次にロータリー雑感です。1998年から現業になりました、やはりというか当然というか親父のもとで従業員として従事していたわけですが、どうも上手くいかず、分かれて法人にすることになり、現代の会社を2000年に起しました。しばらくして、海南西ロータリーの神出氏がやってきて、ロータリーに入れとのことでしたが、まだ、設立まもないことで丁重にお断りしました。2001年に当時従業員もおりましたので、紹介者である山名さんが労務の方お世話になっていた関係で海南東に入ることになりました。山名さんは、神出氏には、ちゃんと執り成しておくとのことでしたが、どうやら、放置され、IDMの内容とか、IMがなんとか地区大会、なんじやまったくわからないままでした。まあ店から会議所も近いことやし、昼飯くらいに行こうかということで、続いていたら、いつのまにか出席率優秀となり、役がまわってくるようになりました。14年もいれば、わかってきたなあという感じです。ロータリーに入会して感じたことは、やはり一番は人と出会いあります。お顔を存じていても話しかけることがないとか、恐れ多くて喋れないとか言つ

たお方ともフランクにお付き合いできますし、但し、皆さん一国一城の主。癖はあります。入って初めて知ることも多く、先輩方もここで親しくなったかたも多數あり、後から入会したものはその経緯を知らないもので昔から旧知の仲と判断していました。しかし、そうでもなかったということをよく聞きます。世の中には、会いたくてもあえない人もたくさんいます。また、別にという方もおられます。横出氏は、たぶん幼稚園から始まり高校まで、2学年上の先輩という方で、私の人生の要所要所に登場される方です。最初は中学入学の折、当時、新田先生の吹奏楽というのがご当地の有名ごとして、私も憧れて入部したのですが担当楽器が希望ではなかったことと3年の先輩が横柄で印象に悪かったこと等であえなく音楽人生は終わりました。それから、海南高校入学し、サッカー部に入部。夏休み前の球技大会で1年のサッカー部員は審判をやらされて、たまたま、ラインズマンに。こちらもやる気なかったのですが、3年の方から、「今の出でるやろ」と血相変えてクレームつける方が。それから大変、長い年月が経過し、海南東RC入会後に会員さんを見渡したところ、またおった。本人は、今まで喋ったことの記憶はまったくないそうですが、私は鮮明に覚えております。また、大江さんの仲人が私の両親であったり、中西さんとは子供が同級生。また、奥さんと私の嫁の大学が同じやったとか、人のつながりができます。

最後に本業の話ですが、海南市の地価は平成2年くらいをピークに年々下落しており、現在の地価のレベルは、昭和56年～58年頃の地価と変わらないくらいにまで下落しております。今後、少子高齢化が進みます。土地の重要なが少なくなるとの見通しですが、いずれバブルはないとしても下げ止まったところが買い目ではないかと期待しております。ご用命は是非当店へ。有難うございました。

8. 閉会点鐘

海南東RC 40周年記念事業 「心に響く小さな5つの物語」 海南市教育委員会へ1,000冊寄



次回例会

第1829回例会 平成27年4月27日(月)
12:30～ 海南商工会議所 4階
会員卓話 委員長会議報告
社会奉仕委員長 田中 祥秀君
職業奉仕委員長 魚谷 幸司君
IM2組新入会員オリエンテーションの感想



ニコニコ・BOX

角谷 太基 君

家族例会に多数参加いただき有難うございました。

吉田 昌生 君

藤白にまつわる歴史と文化財を楽しく学ぶ『藤白講座』が6月から開催されます。多くの方の参加お願いします。



山名 正一 君

昨日、高野山に行ってきましたが、1200年祭ということで混雑すると思いましたが、案外スムーズに行けたので拍子抜けしました。

桑添 剛 君

家族会ファミリーでお世話になりました。

木地 義和 君

家族会お世話になりました。
12日急に欠席してすみませんでした。

上中 嗣郎 君

昨日、還暦記念同窓会がアバロームホテルで開催され出席してきました。45年ぶりに再会した友もいて、想い出話に花が咲き楽しいひと時を過ごしてまいりました。

山畠 弥生 君

親睦委員長の角谷さん委員会のみなさん、先日はご苦労さまでした。卓話させて頂きます。

小椋 孝一 君

4月13日、40周年記念事業として、「心に響く小さな5つの物語」を海南市教育委員会へ1,000冊寄付しました。

上野山 雅也 君

家族会多数ご参加ありがとうございました。

宇恵 弘純 君

春の嵐の中、たくさんの方が出席して下さいました。ありがとうございます。

岸 友子 君

父の代理出席を承認頂き、ありがとうございました。

山東 剛一 君

家族会ありがとうございました。

榎原 由希子 君

家族会ありがとうございました。

山田 裕之君

4月は雑誌月間です
(Magazine Month)